

第 10 章

計画の評価方法

第10章 計画の評価方法

長崎市立地適正化計画は、将来都市構造『ネットワーク型コンパクトシティ長崎』の実現に向けて、居住誘導区域や都市機能誘導区域、並びに誘導施設、誘導施策を定めています。

しかしながら、少子化、高齢化の進行や経済活動の低迷、自然災害の多発化など、都市を取り巻く社会情勢は変化しており、地方分権改革の推進や財政状況の変化などにも柔軟に対応していくことが必要です。

そのため、目指すべき将来都市像の達成状況を適宜確認するため、誘導施策の効果を評価・検証しながら、概ね5年を1サイクルとするPDCAサイクルを取り入れ、計画や施策の見直し改善を行っていきます。

